

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果より

4月に本年度も中学3年生を対象に実施された、全国学力・学習状況調査の結果について、お子さまを通じて返却をしました。本年度の結果を分析してみると以下のようなことがわかりました。

①学力の向上には規則正しい生活が大切

規則正しい生活を意識して、実践している生徒は平均正答率が高い傾向となりました。これは、あたり前であると感じる人が多いのではないのでしょうか。しかし、本校の生徒は就寝時刻にばらつきがあることが特徴として見られました。睡眠時間を確保することは、心身の成長や学校生活を充実させるためにとっても大切になります。

②家庭での勉強時間の確保

家庭での学習時間について、平日、休日問わず（塾等の時間も含む）2時間以上学習をしている生徒は平均正答率が高い傾向となりました。各教科でワーク（問題集）等を副教材で購入しています。こちらをやるだけでも定期テストの成績に良い影響が出てくるかと思います。家庭での学習時間を確保することを大切にしてください。

③学習した内容の見直し

学習の見直しをすすんで行っていない生徒が一定数います。学習の見直しは、分からないことばかりに目がいきがちです。学習の見直しは、生徒自身その日学習した内容について、何が理解できて、何が理解できなかったかを自己分析することが大切になります。そして、理解できなかったことをそのままにしないように、教員に相談し、解決していく必要があります。

学指導要領が改訂され、①～③の内容のような、生徒自身が自身の学習状況について、客観的に振り返り（メタ認知）、学習を改善していく力をつけていくことが目標とされています。本校でも引き続きこのような力が定着するように教育活動を行っていきます。